

オークの花嫁たち

〜高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される〜



オークの花嫁たち

～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～

私は女騎士だ。

こっちに來い



ふざけるな!

キッ

必ずお前を
殺してやる!

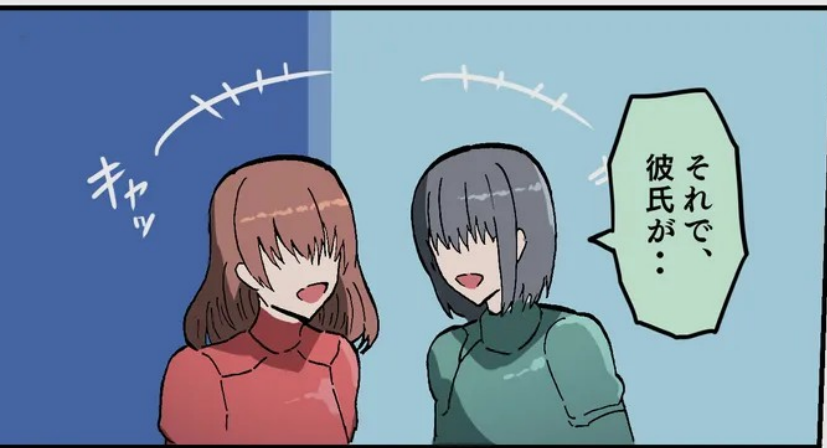
ムニム

先日、こいつとの戦いに負け
奴隷にされてしまった。

この生活にも
慣れたか?



私は戦場で経験を積み、
新米騎士の教官をしていた。



それで、
彼氏が：

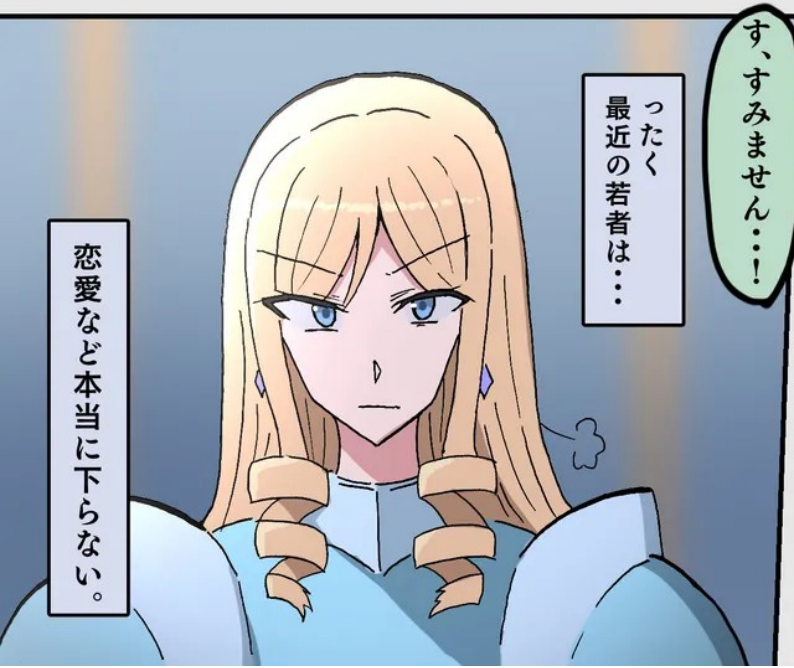
キャッ



そこッ！

訓練中だ！
私語は慎め！

ビクッ

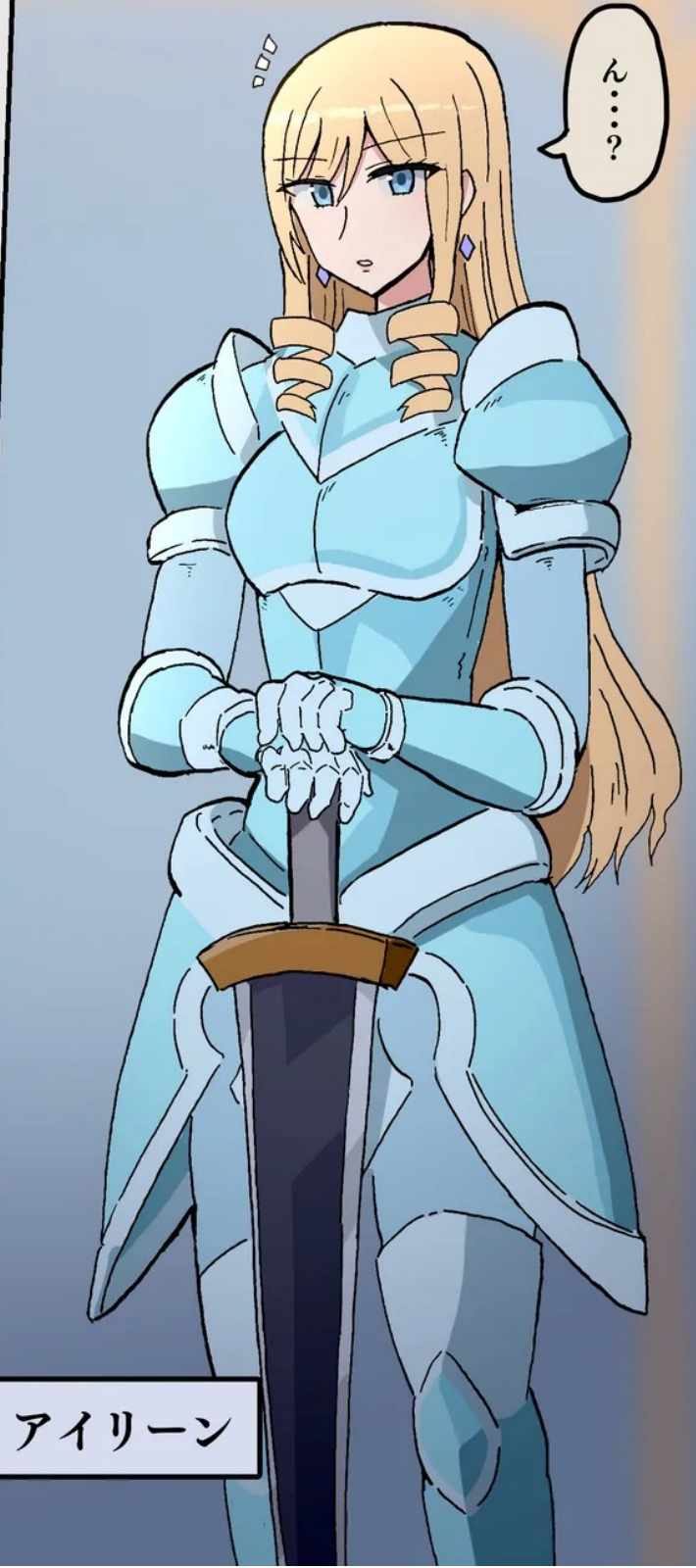


す、すみません…！

まったく
最近の若者は…

恋愛など本当に下らない。

アイリーン



ん…？

騎士の務めは神に代わり
人々を守り魔族と戦う事だ。



騎士とは高潔で礼儀正しく



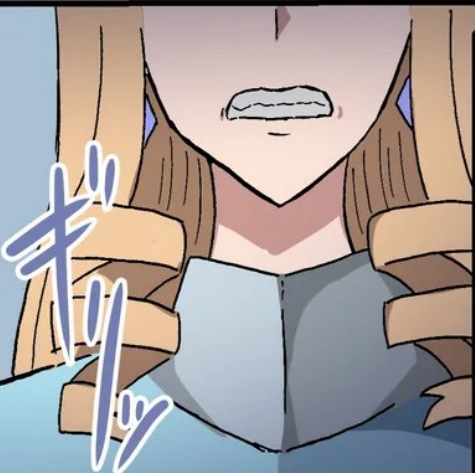
強くて勇敢であり



人々から
尊敬される存在である。



騎士は一人で生き
平和のために命を捧げるべきだ



昔の騎士達は
その高潔さから
恋愛はしなかったと聞く。

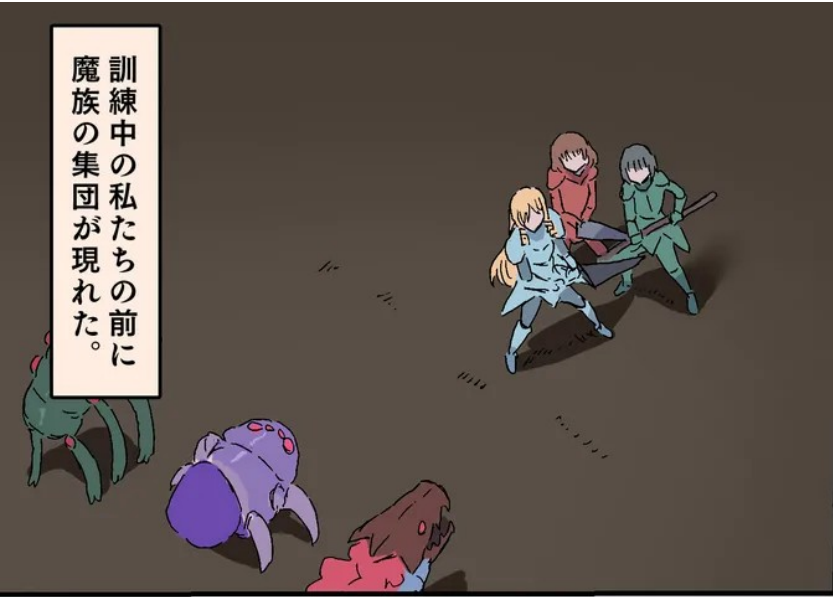
しかし最近
は軽い気持ちで騎士を
目指す軟弱な若者が
増えてきた。



それから数日後



訓練中の私たちの前に
魔族の集団が現れた。



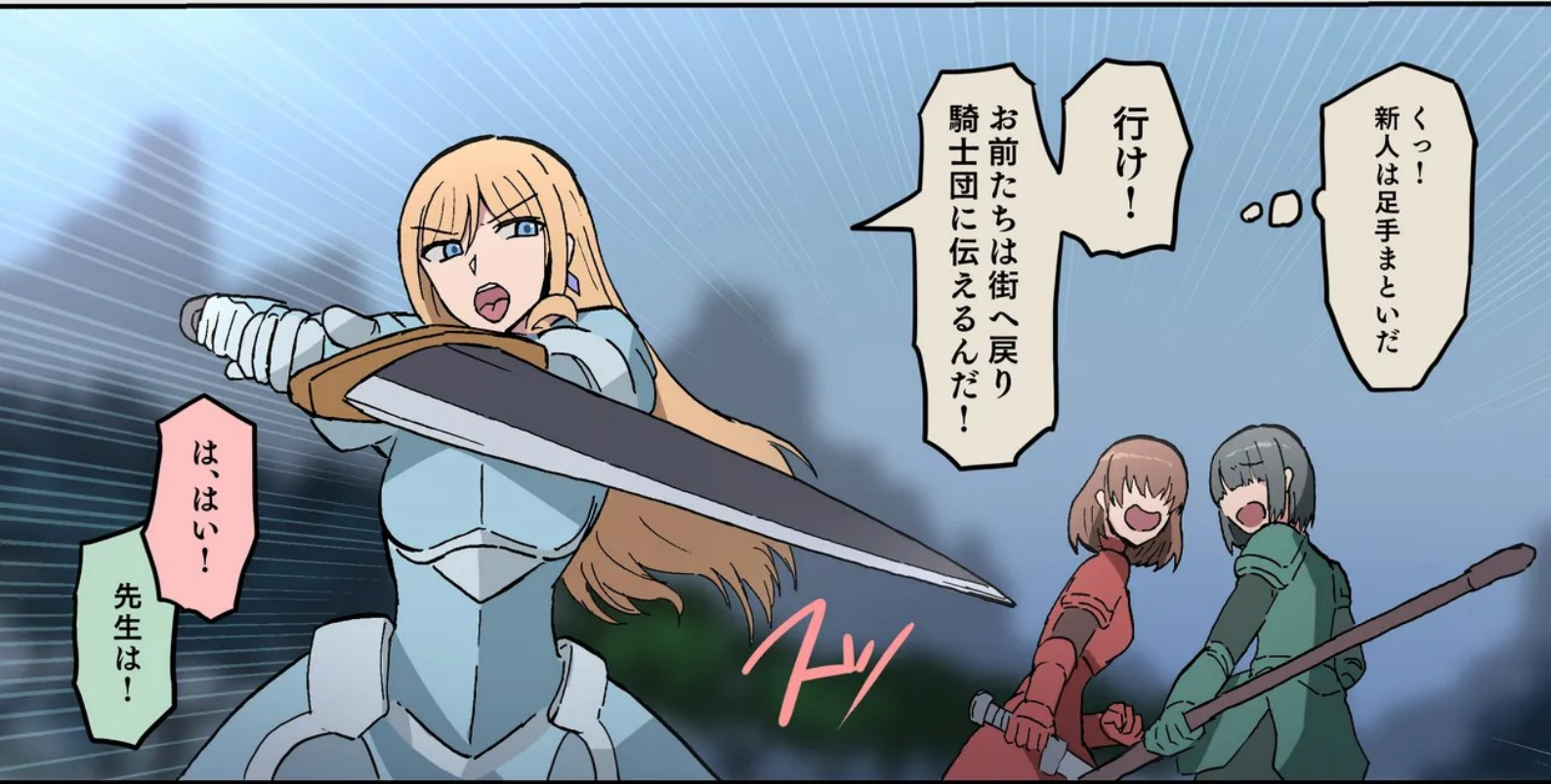
くっ！
新人は足手まといだ

行け！

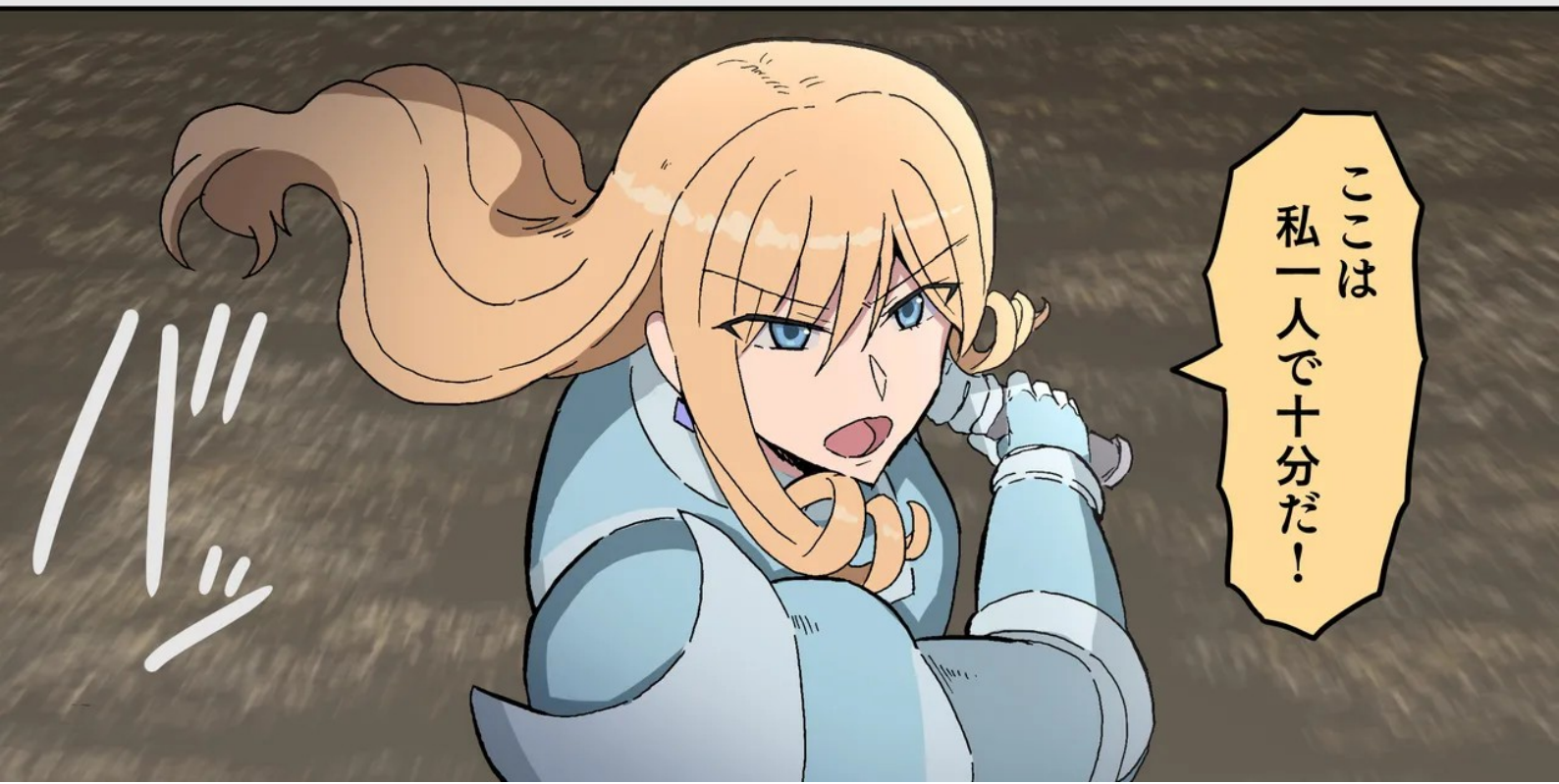
お前たちは街へ戻り
騎士団に伝えるんだ！

はい！

先生は！



ここは
私一人で十分だ！



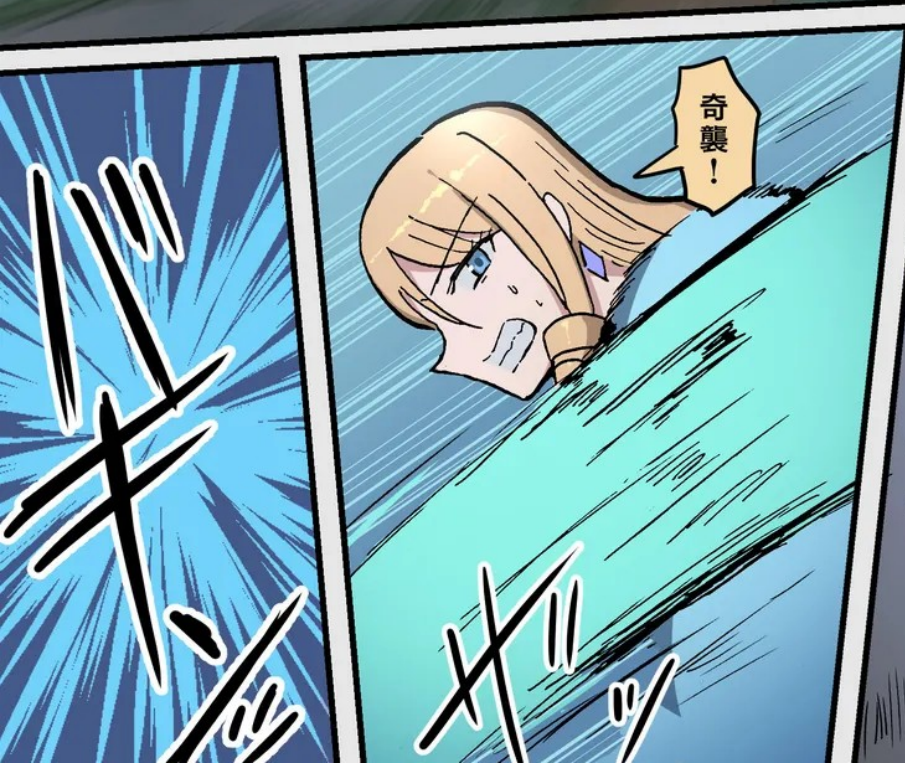
私は次々に襲い来る
魔族を叩き斬っていった。



敵を全て倒したと
思ったその時…

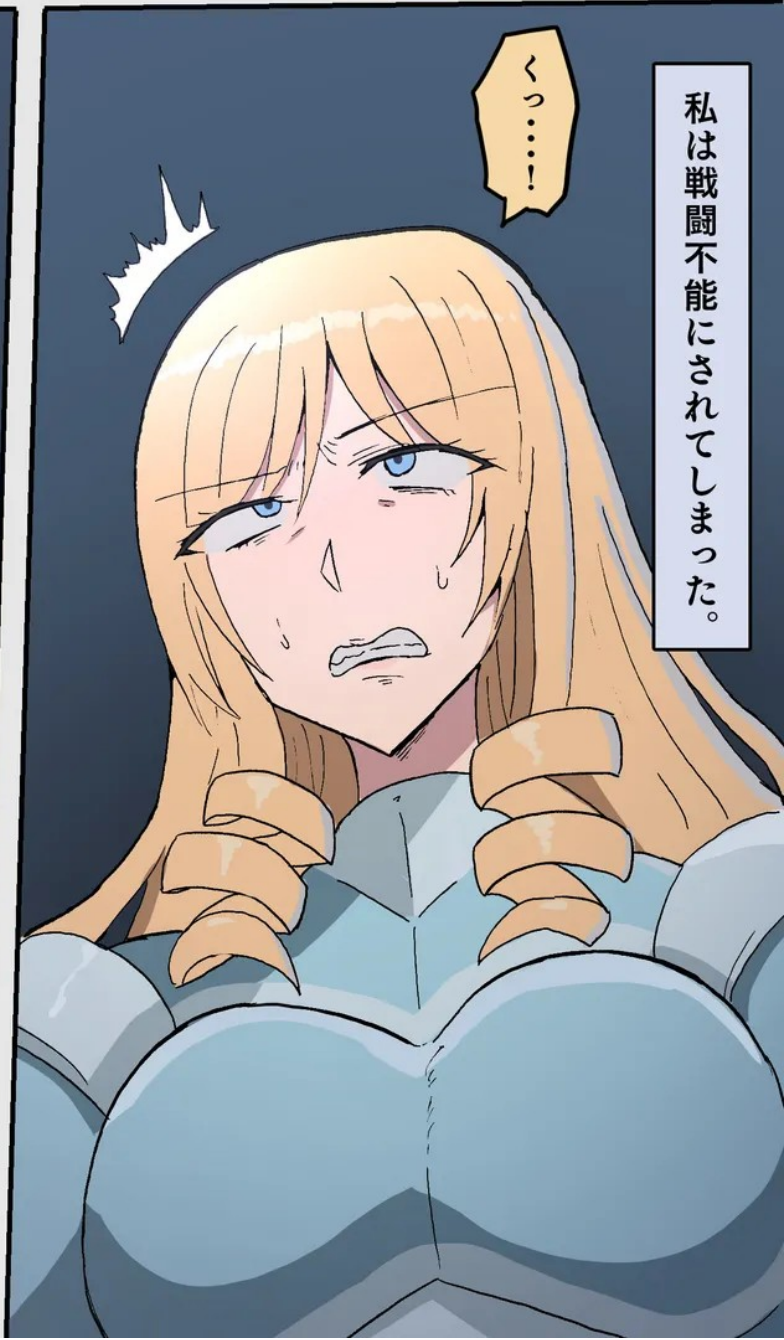
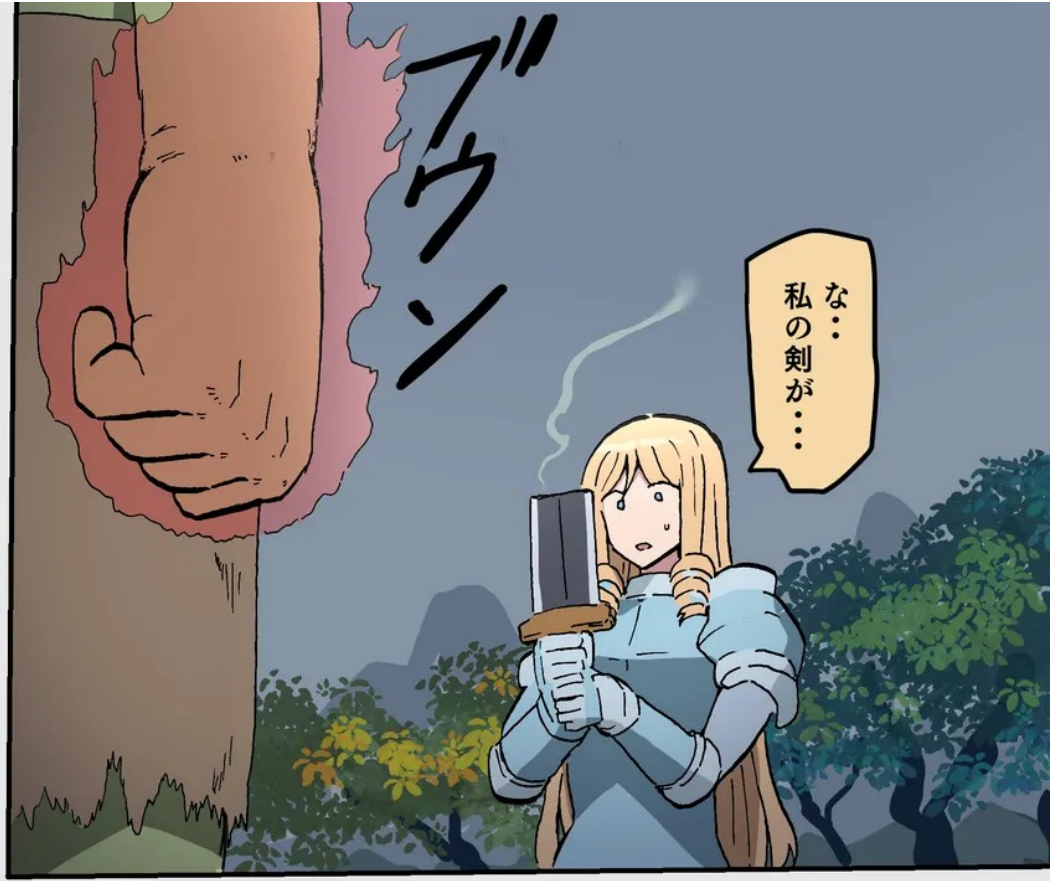


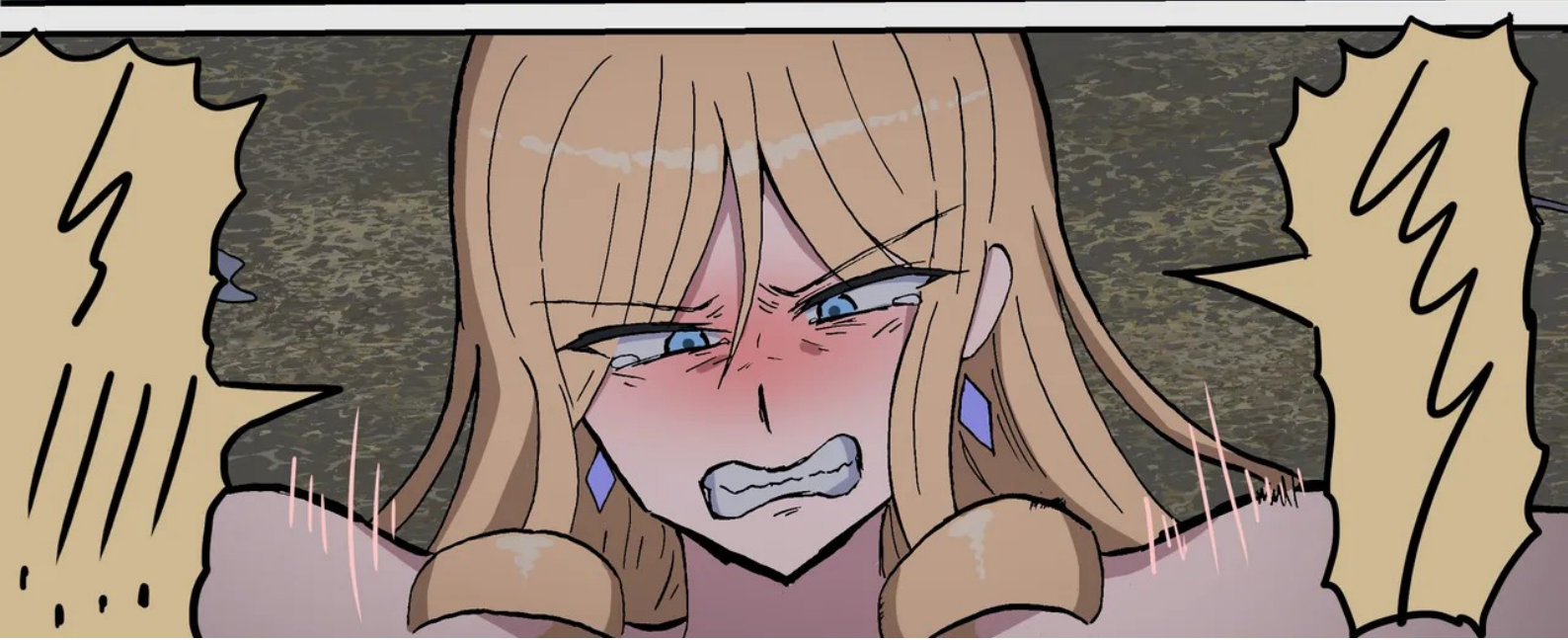
奇襲!



ヤツが現れた。







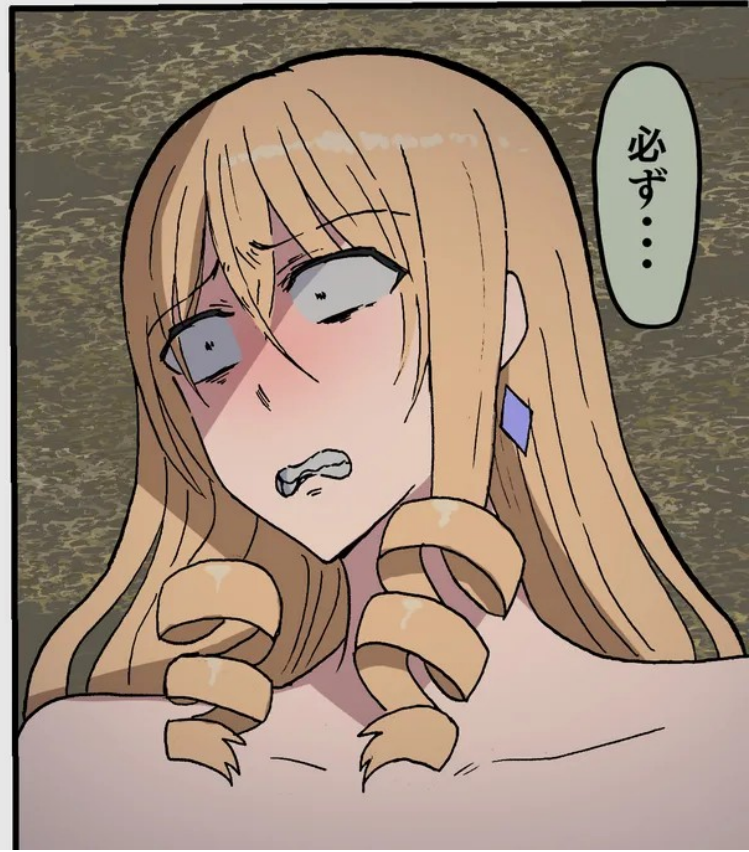


私は穢されてしまった。

オレたちの
印が付いたな



必ずオレの
雌にしてやる…!!

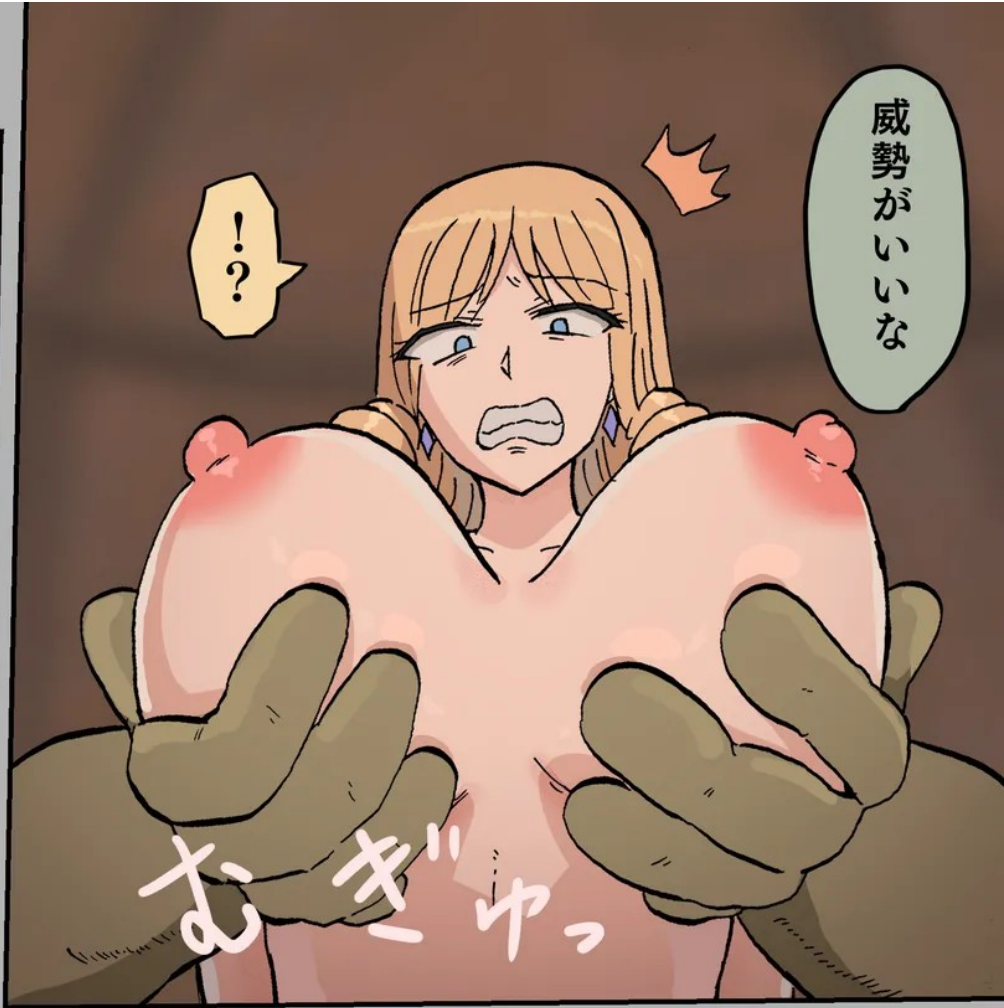


必ず…



その威勢...
必ず屈服してやるぞ!

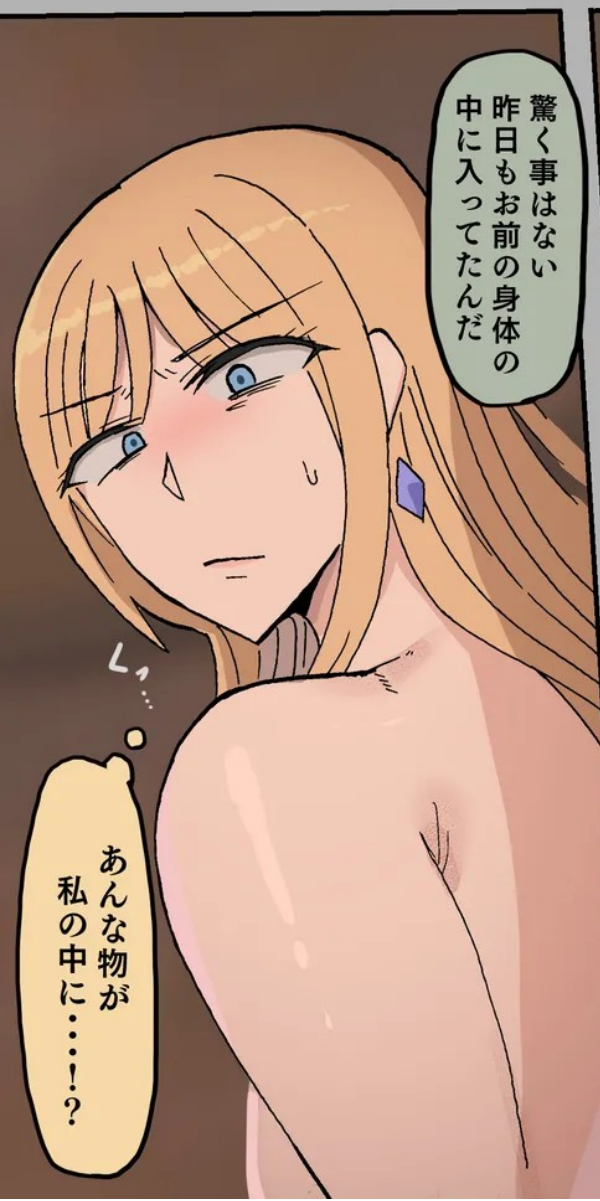
くっ...!!



威勢がいいな

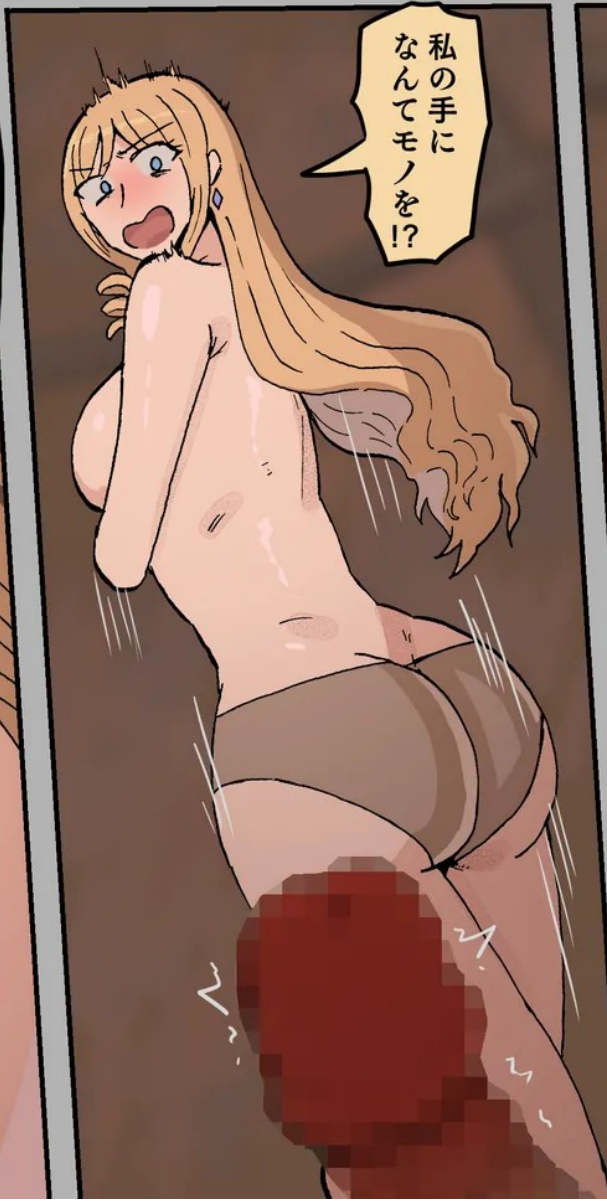
!?

おぎゃっ



驚く事はない
昨日もお前の身体の中に入ってたんだ

あんな物が
私の中に...!?



私の手に
なんてモノを!?



ほらよ

ひやあっ!??

ビクッ



やはり騎士にして
おくのはもったいない

立派なケツだ



たっぷり犯してやる



や、やめろおおお!!



ズルッ



跪け

くっ!!



くそ...
このオマケでは...!!

いい眺めだ
アソコが丸見えだぞ

それに少し
濡れているな

そんな
馬鹿な事が!

今すぐ
おちこんでやる!

ピトッ

また穢されてしまう!

どうだ！
奥まですんなり
入るようになってきたな！

ズキョ

ズキョ

ズキョ

中の具合もなかなかだ！
もう絡みついてくるぞ！

うそ……！
気持ちいい？？

こんなの
おかしい！

お、お前！
私に何をした……！？

ズキョ

ズキョ



お前の身体に雌の印を刻んだ
それは精液に含まれる魔力を吸収し
お前の身体を内側から変えていく

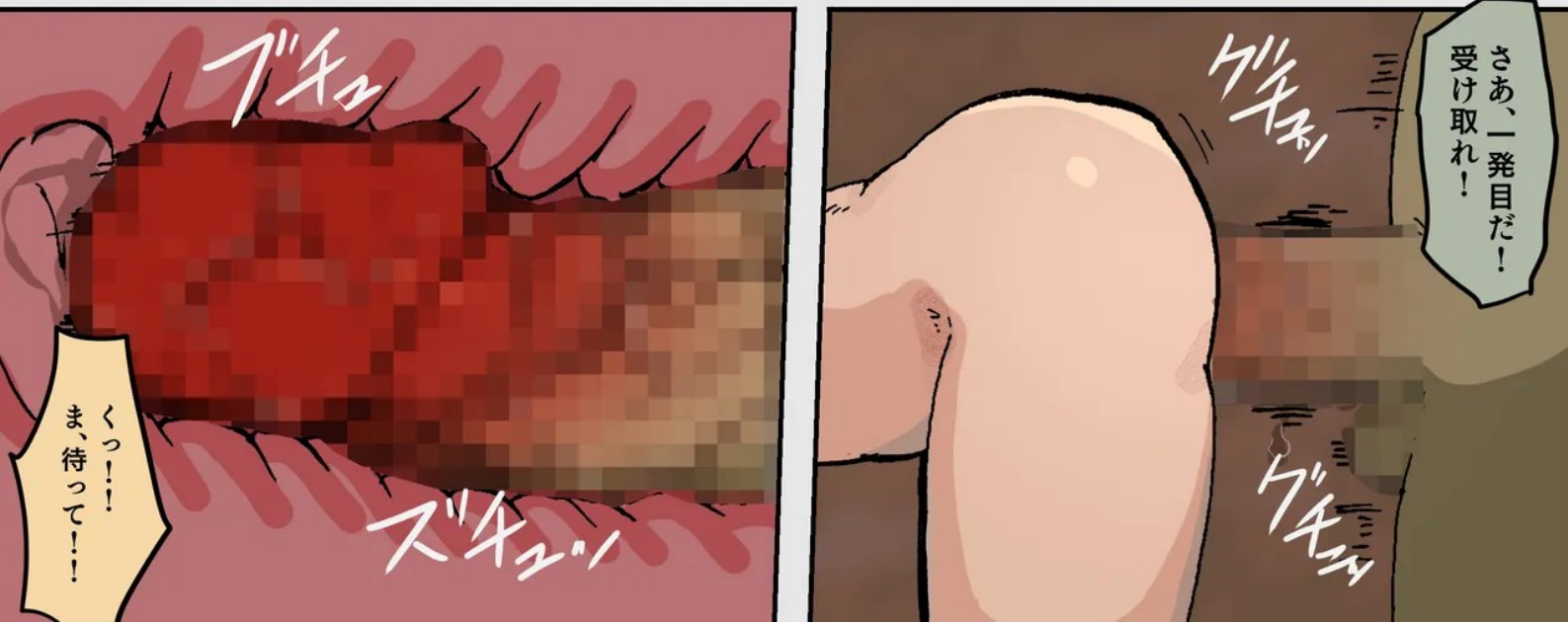
その印が大きくなる頃には
お前は立派な雌になっているだろうな

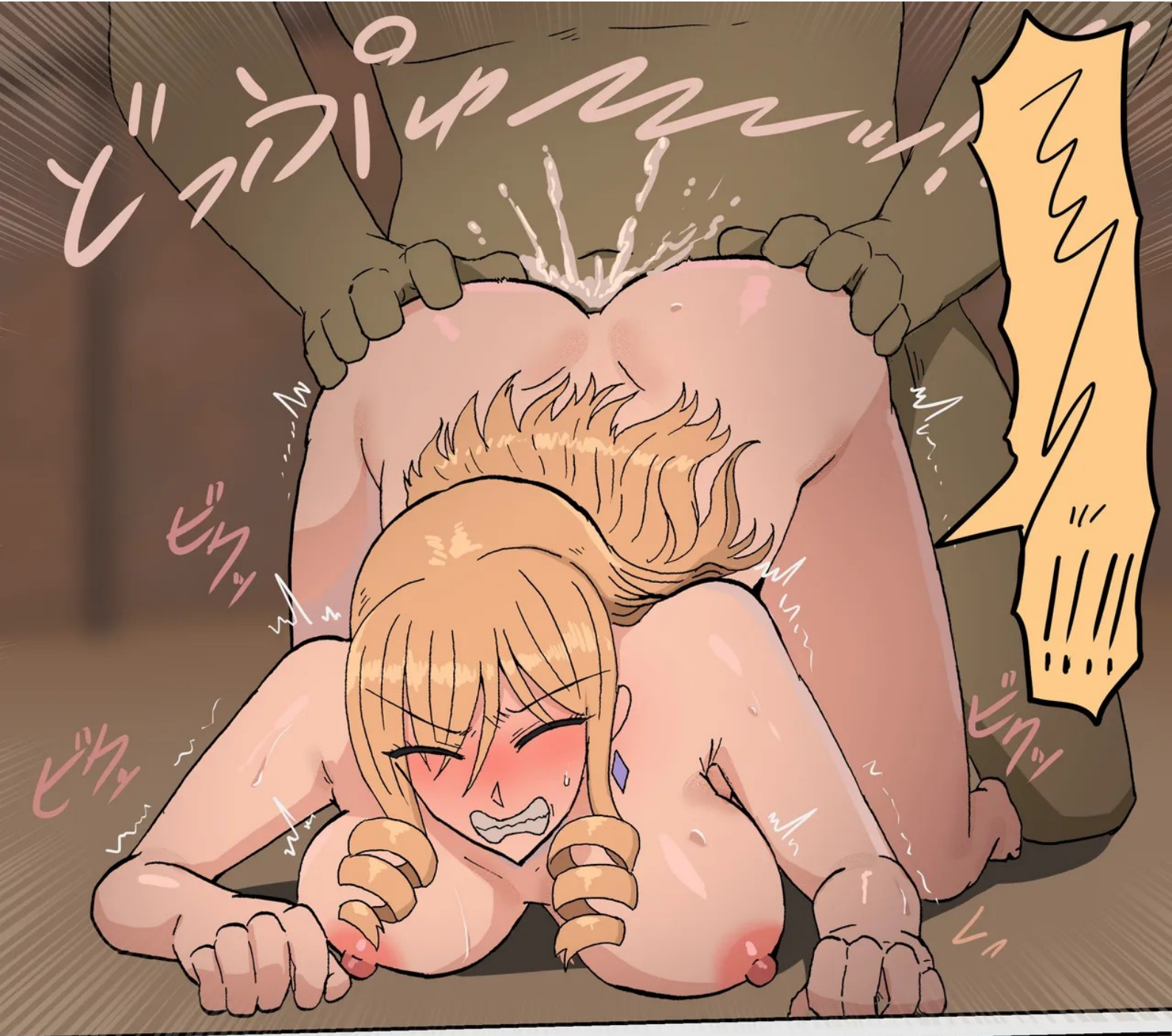
そ、そんな…!



さあ、一発目だ!
受け取れ!

くっ…!
ま、待って…!





休むのはまだ早い
調教は始まった
ばかりだぞ

マズい...!





私は快楽を抑えることができなくなっていた。

おっおっ
おっおっ



それから私は何日も犯され続けた。

おっおっ



こんな事して!!!
ただで済むと思うなよ!!!
わかっているのか!?

私はあの誇り高い...
んおっおっおっ

ちくびい
やめ!!

身体は日に日に敏感になり

やめてええ

あああああ!!...!!...!!
汚らわしい!!
やめろおお!!...!!

アソコは常に濡れ続け

おおおおお!!お!!お!!
お!!お!!お!!お!!お!!
お!!お!!お!!お!!お!!

ヤツの身体を求めるように
なってしまった。



もうやめてえー!!!



なんで...?
なんでこんなに...!!!

なんでこんなに
気持ちいいの!?



あああああ!!



私の身体…

どうなって
しまうの…??



Why!!!

ブルッ



どこか優しい...

それに
前と比べて



キスばかり...



最近コイツの
様子がおかしい...



いや、
私だけじゃない...



ダメだ...
身体が興奮してしまっ...!!



こいつも
興奮している??



きっと私の身体の影響だ

私の身体は雌の姿に変えられてしまったんだ
そして、この身体からは卑猥な匂いがする

この匂いがこいつを
興奮させているんだ…!!

はあっ…
むわっ…

はあっ…

ムキッ

むわ

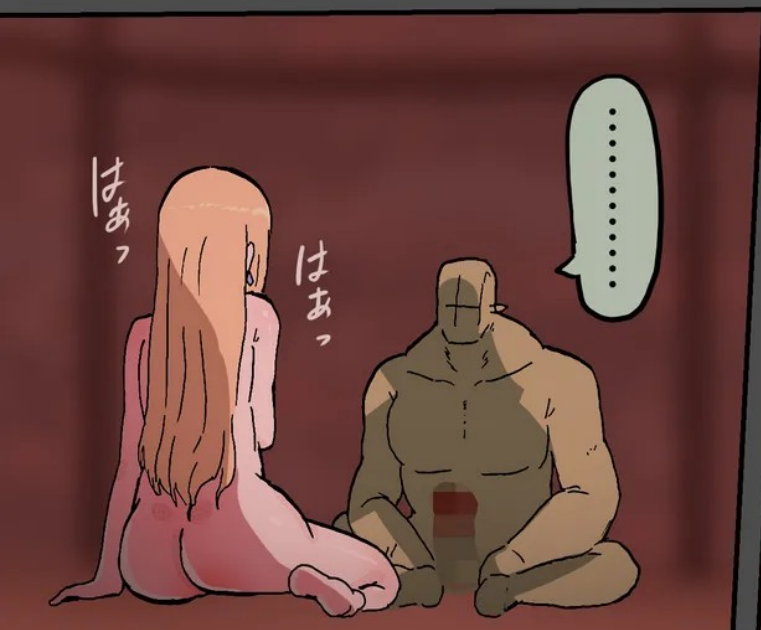


……



駄目っ…!
私も変な気持ちに
なってしまう…

キッ



お前はもう
オレの雌だ



それなら雌相應に
扱うのがオレの流儀だ

はぁっ
はぁ

!?



そうか...

雌というのはコイツに
とって名譽ある言葉なのか？

わたしはてっきり性奴隷の
ような存在だと思っていた。

弄ばれ、騷られ、飽きたら
殺される存在だと思っていた。

でもそれは間違いで
きつと私たちが言う恋人に
近い言葉なのかもしれない

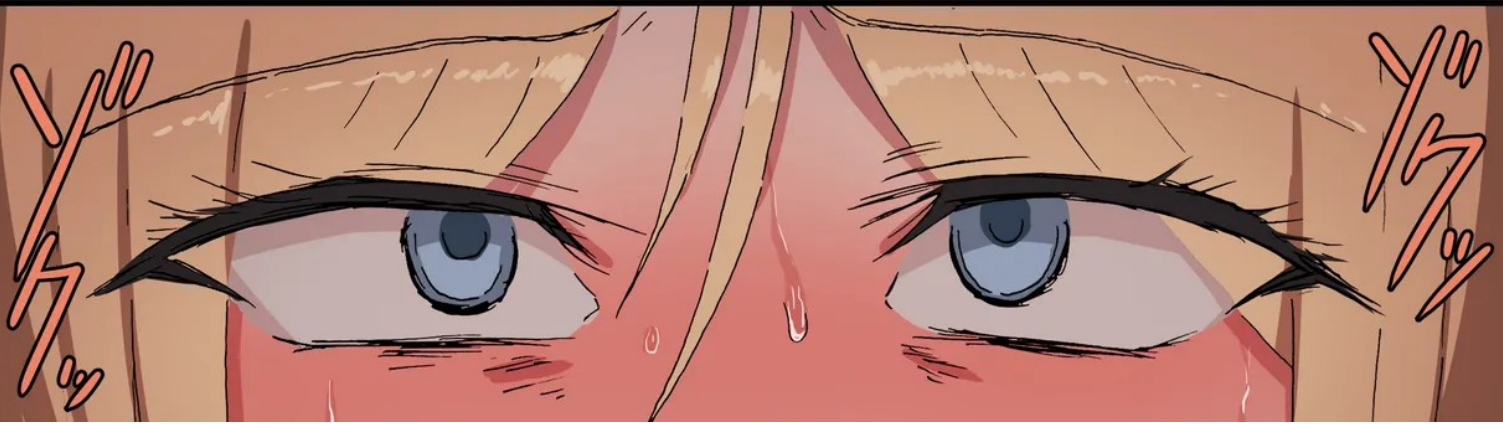


それって つまり...



この私を

愛してくれるという事なのか？





ぐちゅっ

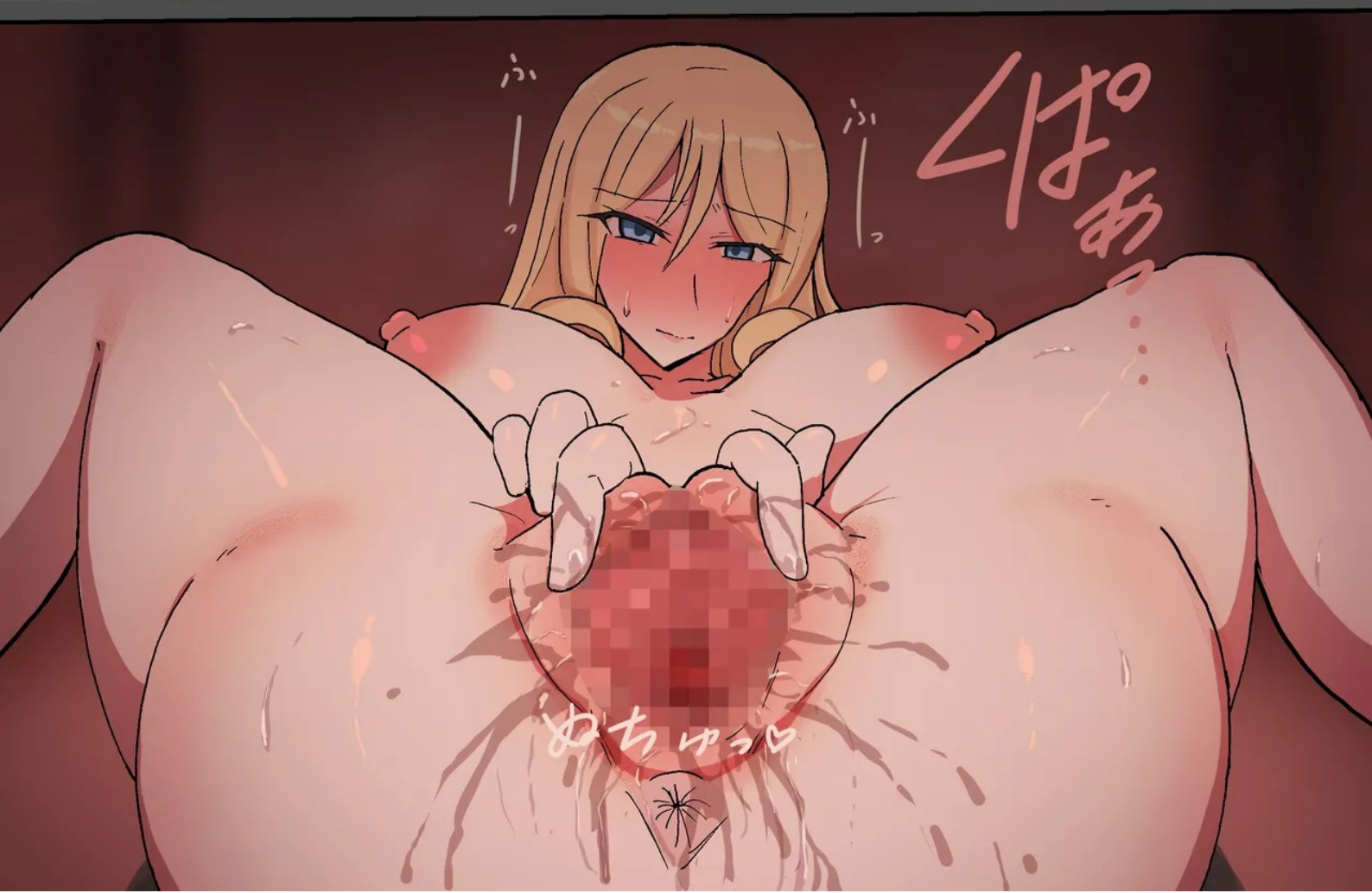


グイッ



これから
やってはいけない事を
やっってしまう...

私...



はぁ

ぐちゅっ♡



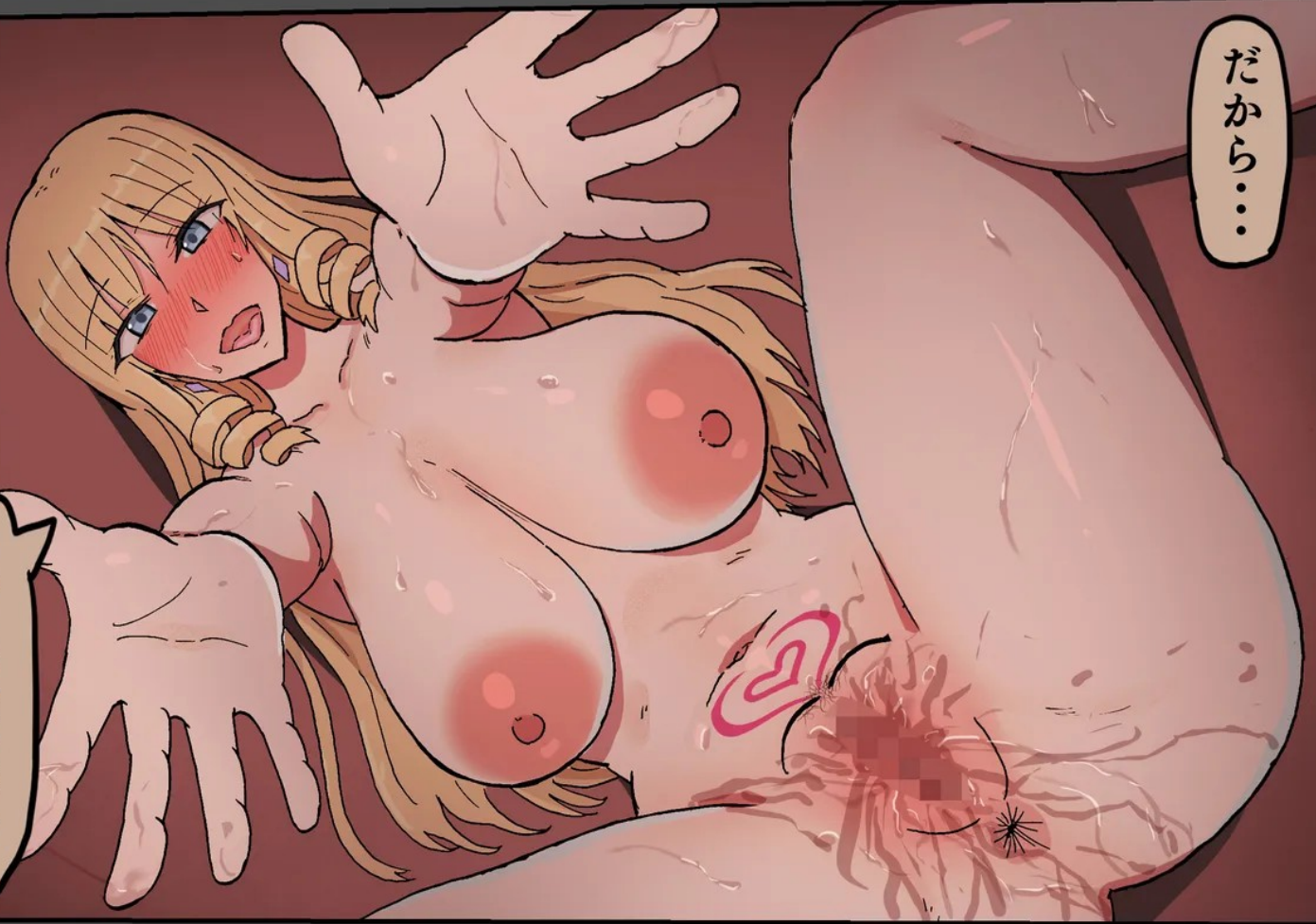
はぁっ はぁっ

敵の事を知らなければ
戦えないからな...



か、勘違いするなよ

これは...
そう作戦だ!



だから...

フッ

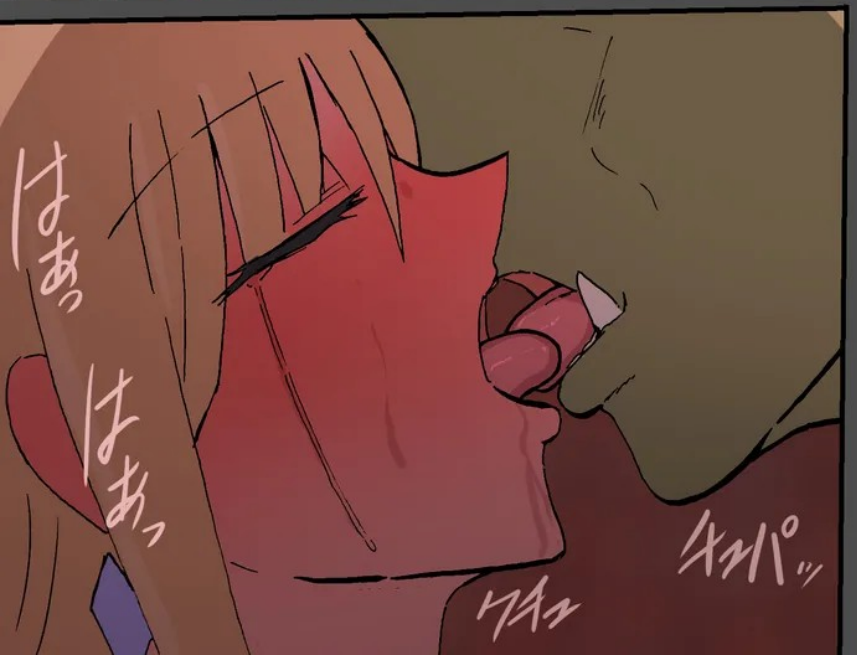
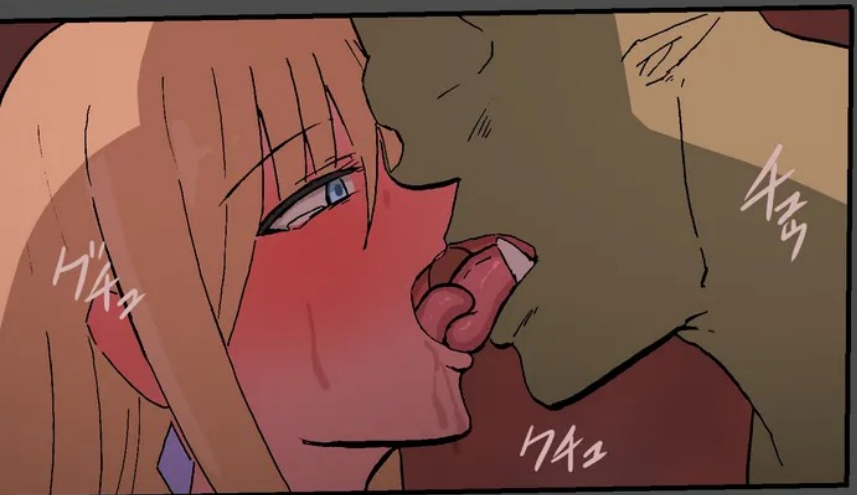
もっとお前の事を
教えてくれ...!!



はぁっ

はぁっ

ズン



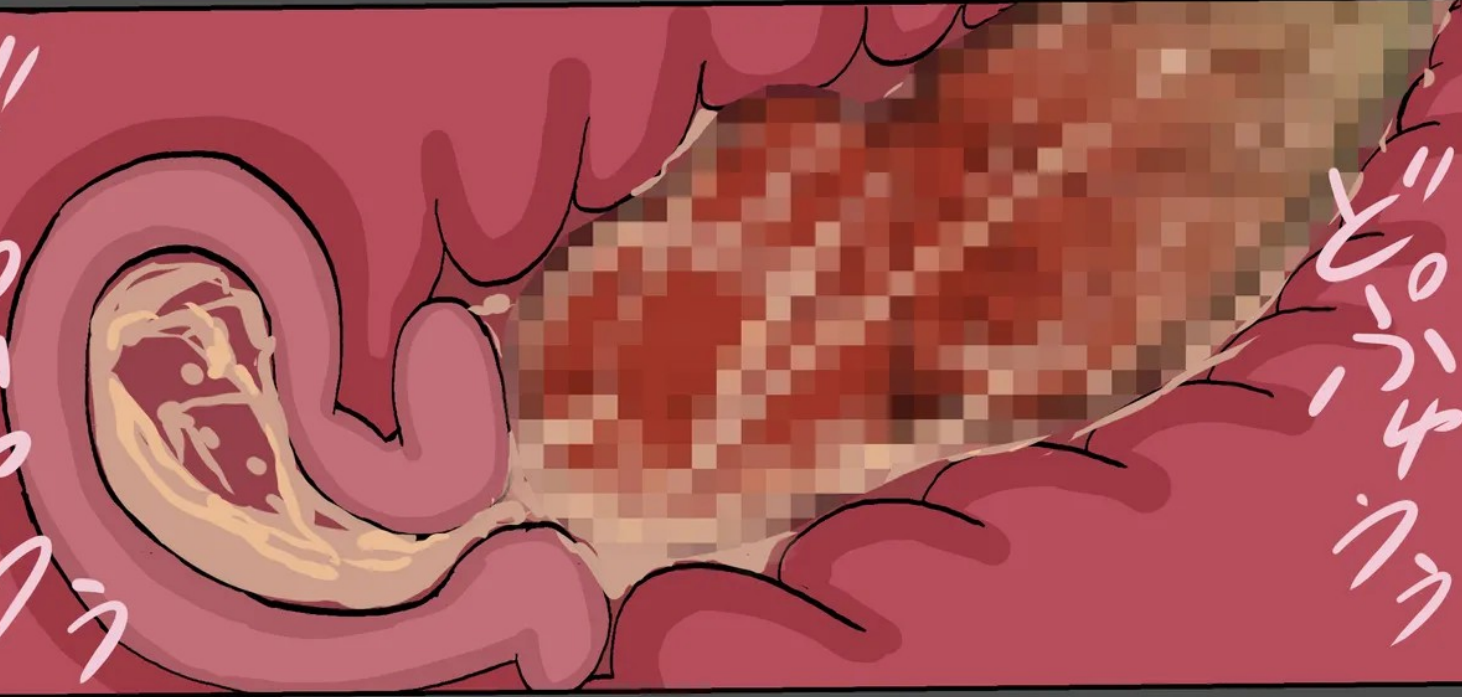


どいかにうらなえ!!!

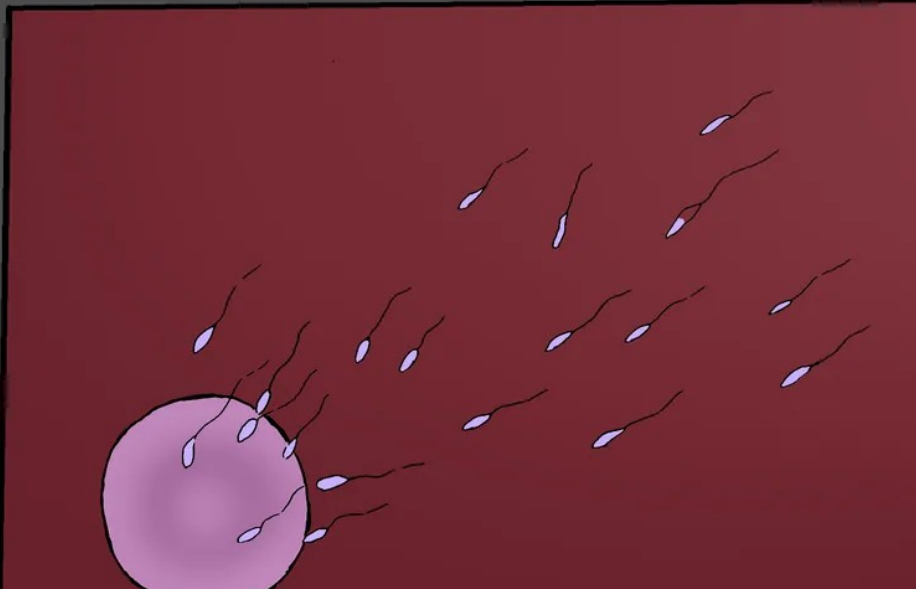


どいかにうらなえ!!!

どいかにうらなえ!!!



どいかにうらなえ!!!





ああ…!

びりっ
あっ
びりっ

お前はもう
騎士ではない

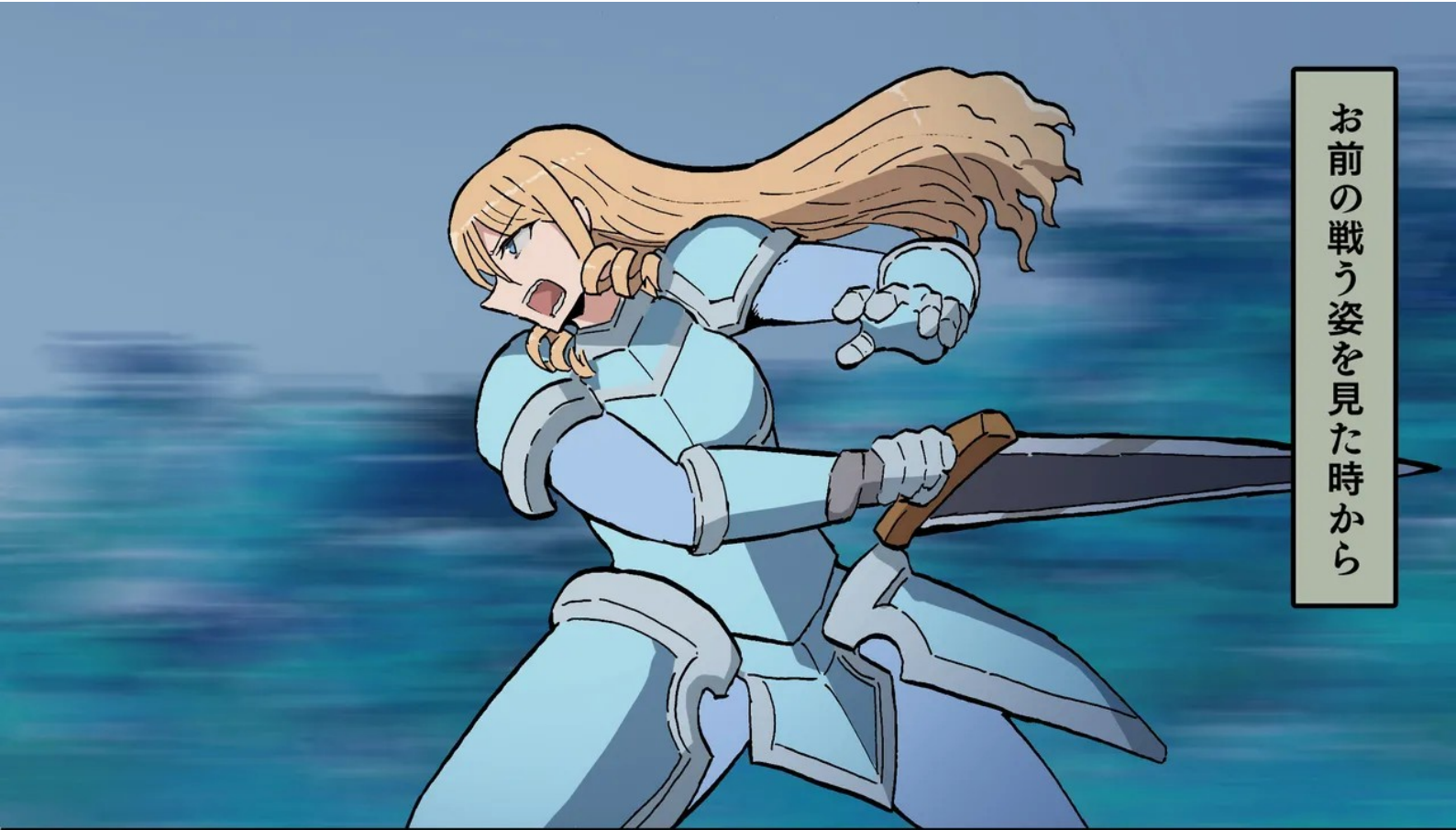


お前の使命は
オレ達と戦う事ではない

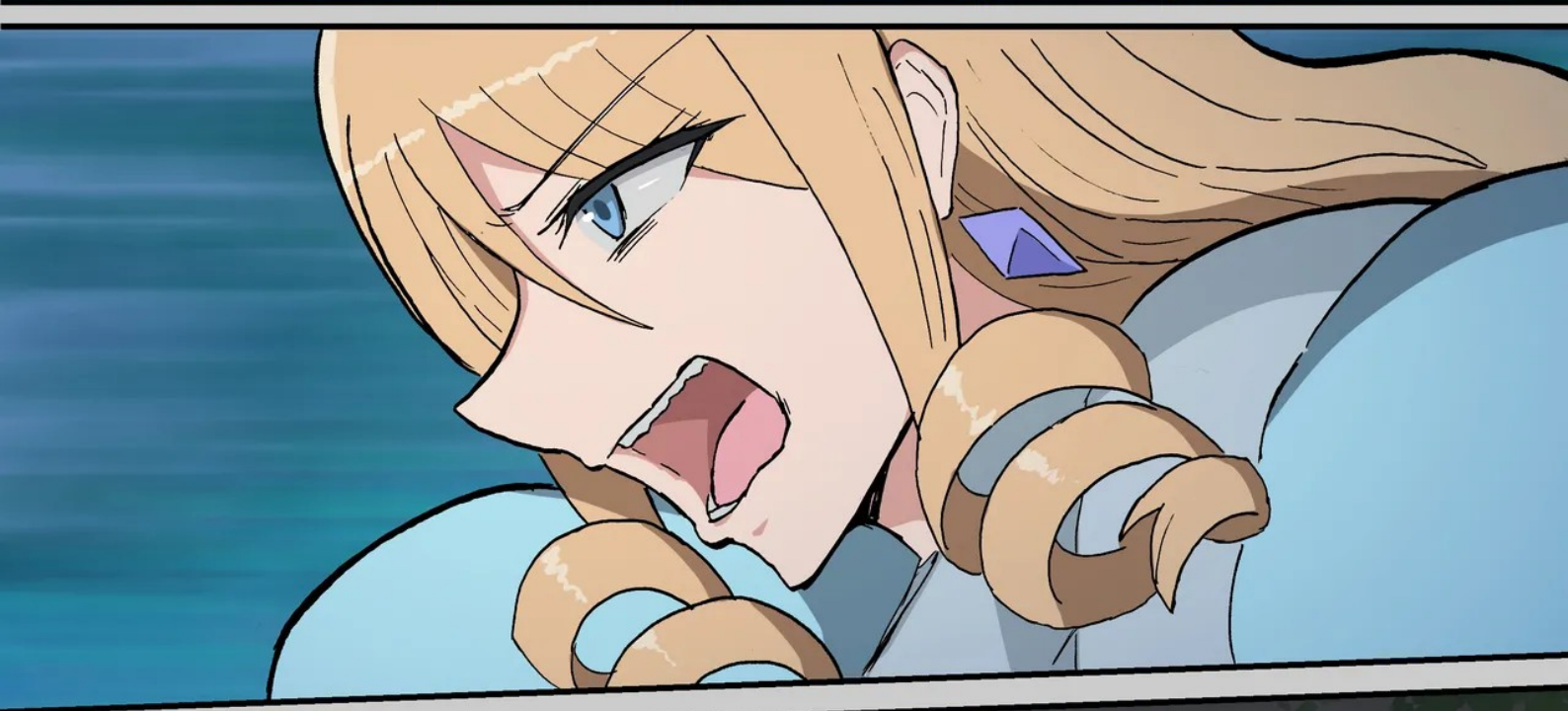
これからはオレの雌として
オレの子どもを産み続けるんだ



あの日



お前の戦う姿を見た時から



必ずお前に
オレの子どもを
孕ませると

決めたんだ

お前は
オレのモノだ

ビュッ
ビュッ

ゴポ
オ



数か月後



私は女騎士だった。

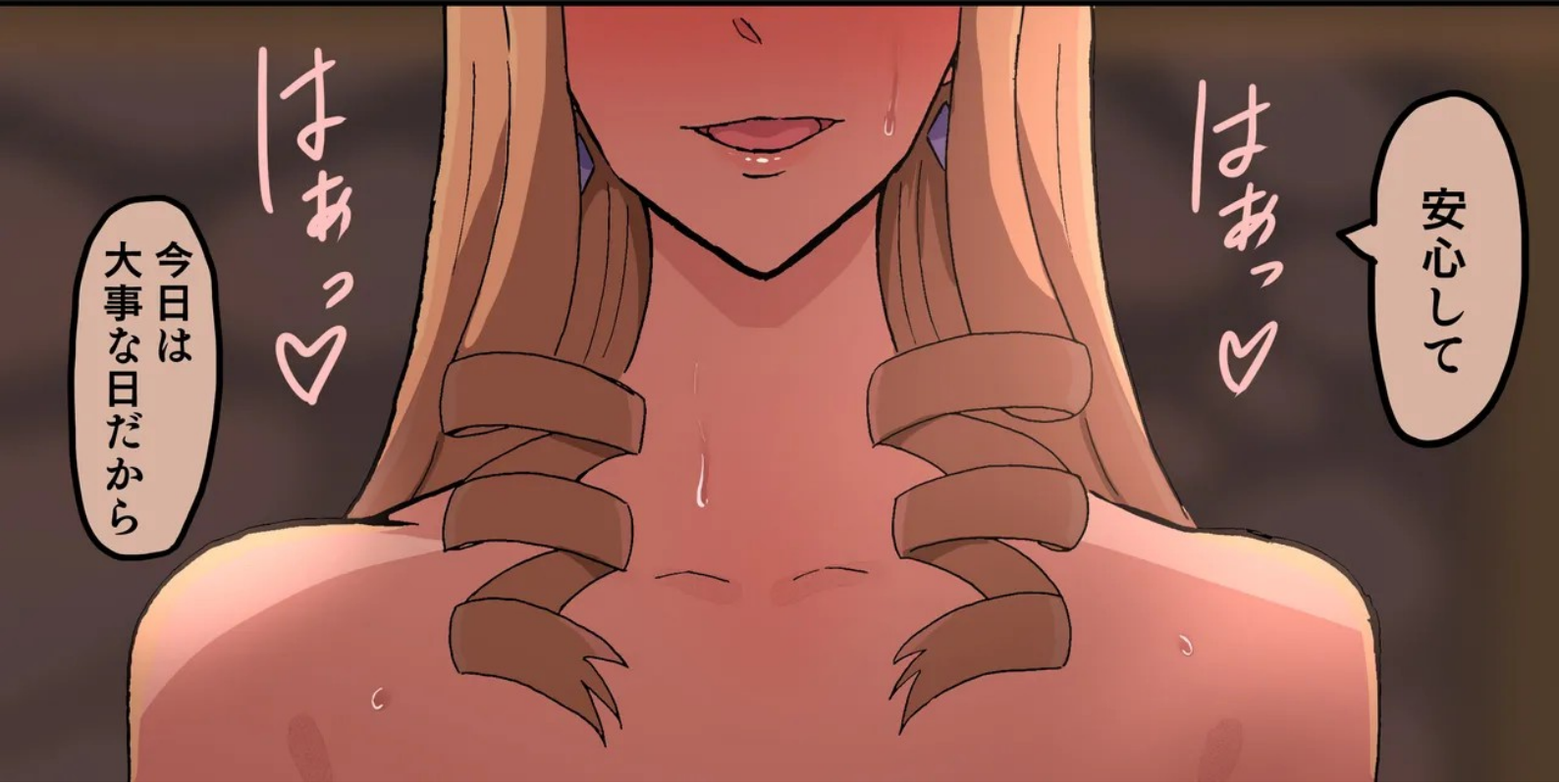
こっちに来るんだ



もう、そんなに
待ちきれないの♡

でもそれは昔の話だ。

ムム♡
ムム♡



安心して

今日は
大事な日だから

はぁ♡

はぁ♡

今はオークの雌として暮らしている

お腹の中の赤ちゃんに

たっぷり栄養を上げてね♡

はぁっ♡

はぁっ♡

おっ♡

おっ♡

パサッ

ムアッ♡





いやらしいおまんこも
全部貴方好みでしょ♡

ブル♡

グニョッ



ほら♡見てえ
この熟した大きなおっぱい♡

はぁ♡

ブル♡

ブル♡



こっちも
相手してあげるね

フッ



嬉しい♡

ちゃっ♡

はぁ はぁ

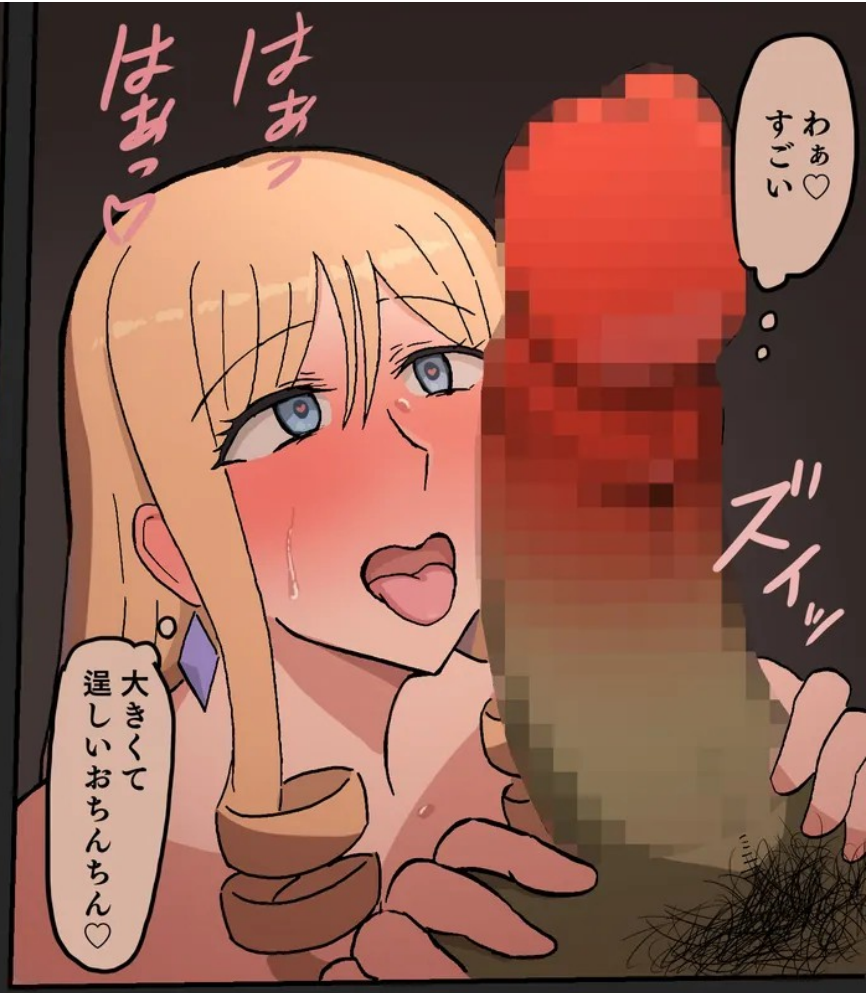
お前は優秀な雌だ



金玉もタップタップ
いっぱい♡

辛そう

キーン♡



わあ♡
すごい

大きくて
遅いおちんちん♡

はぁ♡
はぁ♡

ズツツ

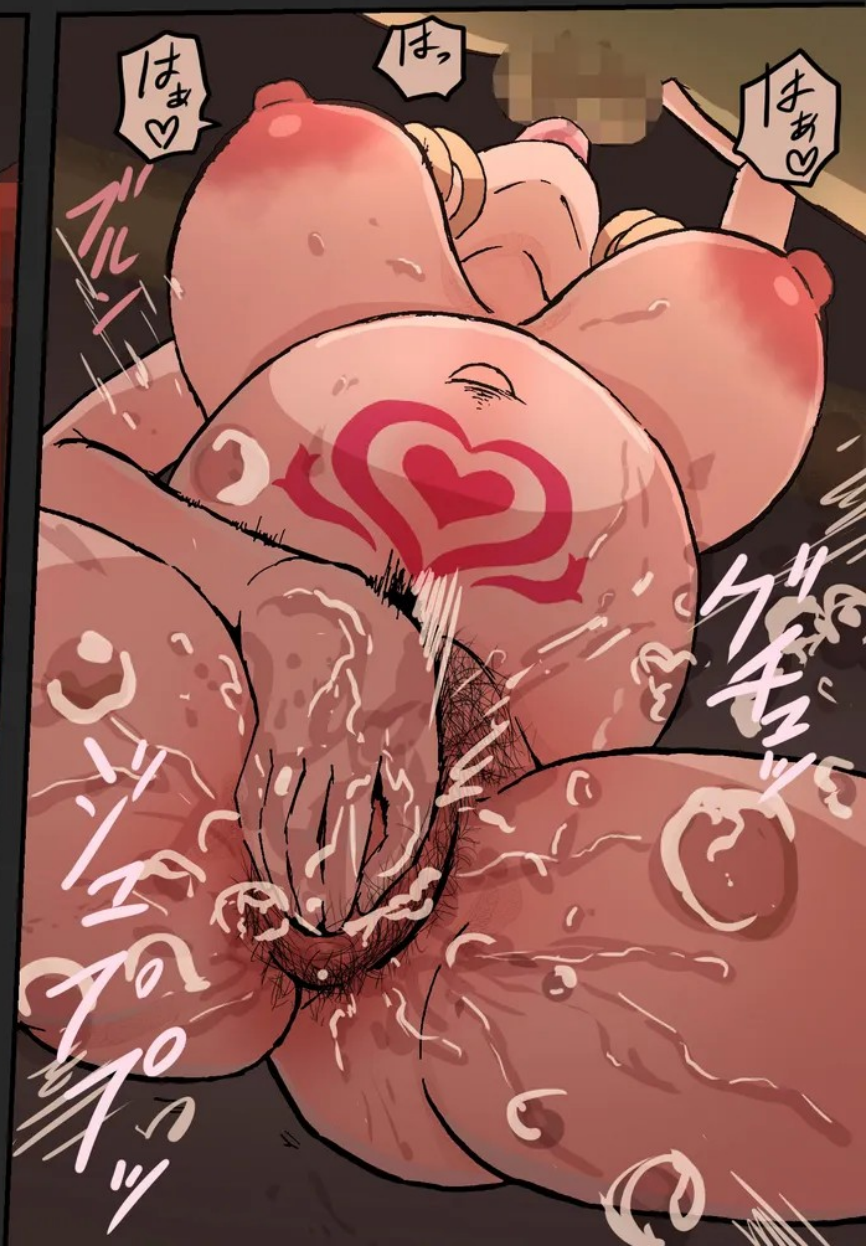


はぁ♡

ハロオ

はぁ♡

今すぐ出して
あげるからね



はぁ♡

はぁ

はぁ♡

ズツツ

ズツツ

ズツツ







コレ!
これが欲しくて

ズ
ズ
ズ

ずっとおまんこが
疼いちゃったの!

ズ
ズ
ズ



相変わらず
お前の中は
気持ちがいいぞ

ほんとうう
嬉しい♡

もっときもち
よくなってる

はぁ♡

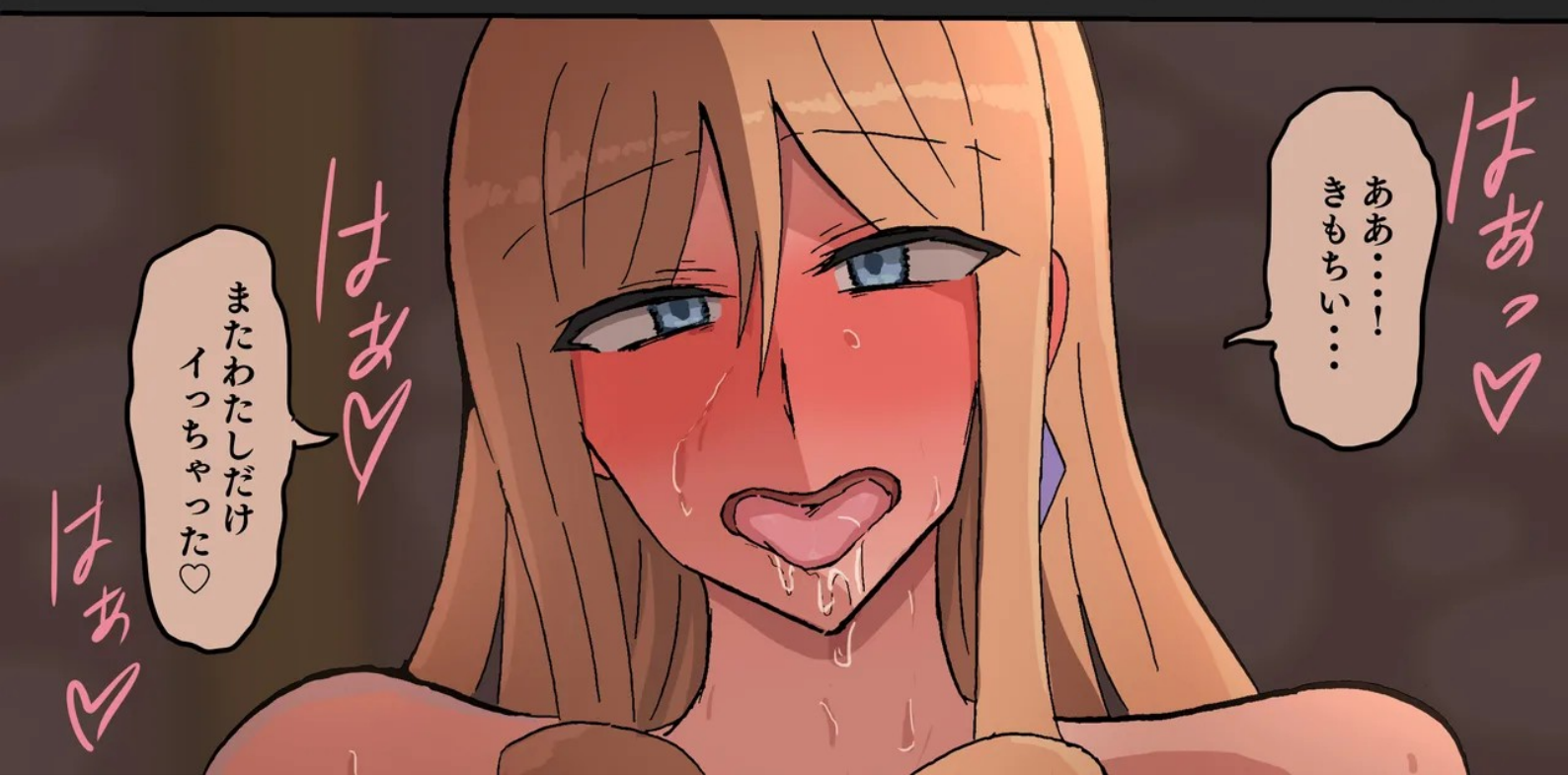
はぁ♡

は
ん
♡

ズ
ズ
ズ



あああああ



はぁ♡

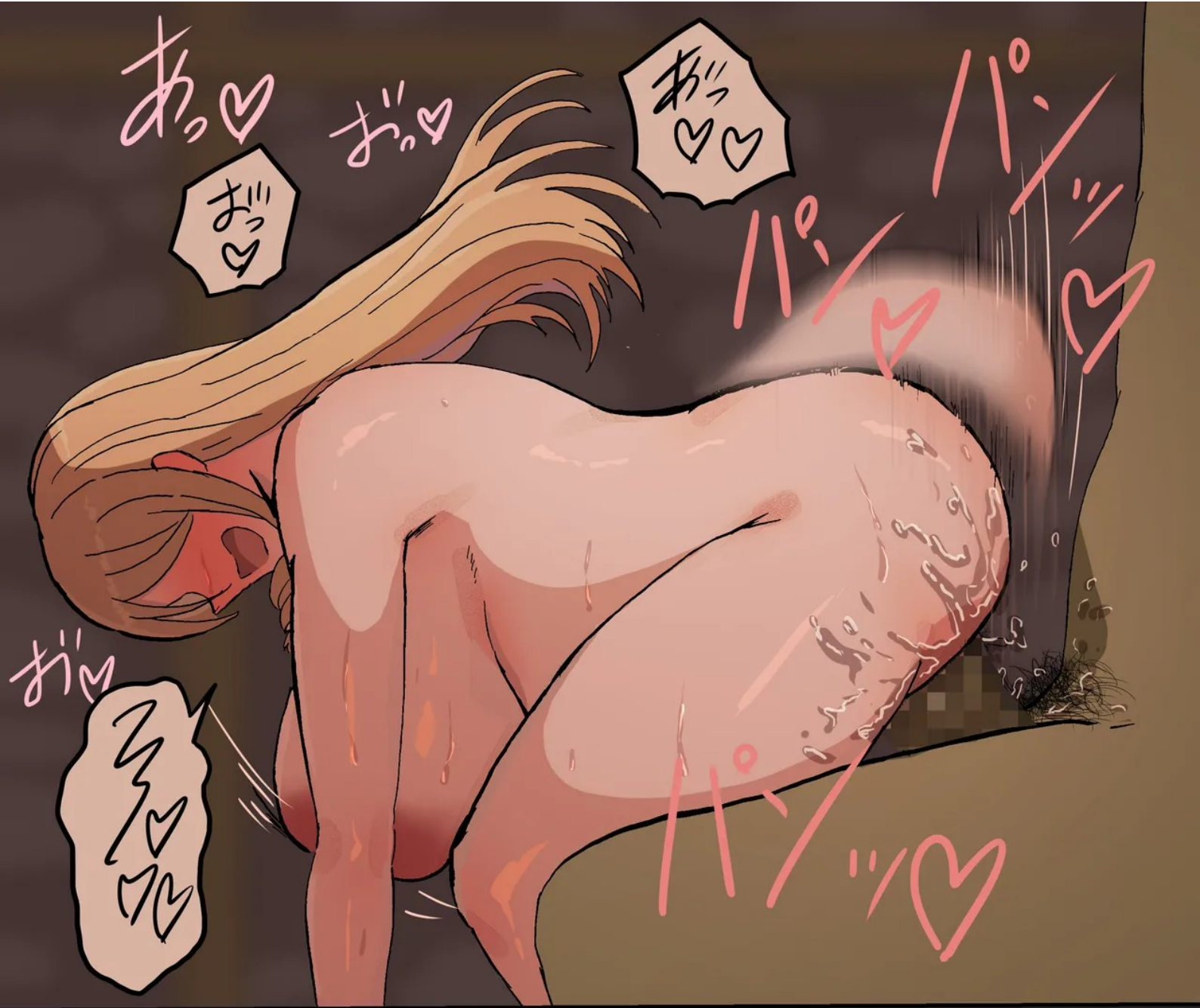
ああ...!
きもちい...

はぁ♡

またわたしだけ
イっちゃった♡

はぁ♡







それから私たちは我を忘れ
お互いの身体を求めあっていた。



はぁ♡

はぁ♡
あ♡

はぁ♡

あ♡

はぁ♡



はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

お♡
お♡
お♡

立派な雌に
なったものだ



スツ...

お前の姿だ



その鏡を
見て見ろ



これが
今のお前だ

これが私...

なんて下品な
身体なんだろう

むわあ..♡

ステキ...♡



まさか...



ひどい
幻滅しないでよね

ここまで変態に
なるとはな



今のお前が

一番美しい



恋愛など下らん

私は嫉妬していたんだ



ああ・幸せだ



でも今の私は騎士ではない。

はあ♡

はあ♡

これが雌にされ、愛されることを知った私の姿だ。



騎士だった頃の私は周りから男達を遠ざけてきた。

騎士は一人で生き、平和のために命を捧げるべきだと思っ込んでいたからだ。



愛されることが

はあ♡

こんなにも幸せな事だなんて知らなかった！

はあ♡

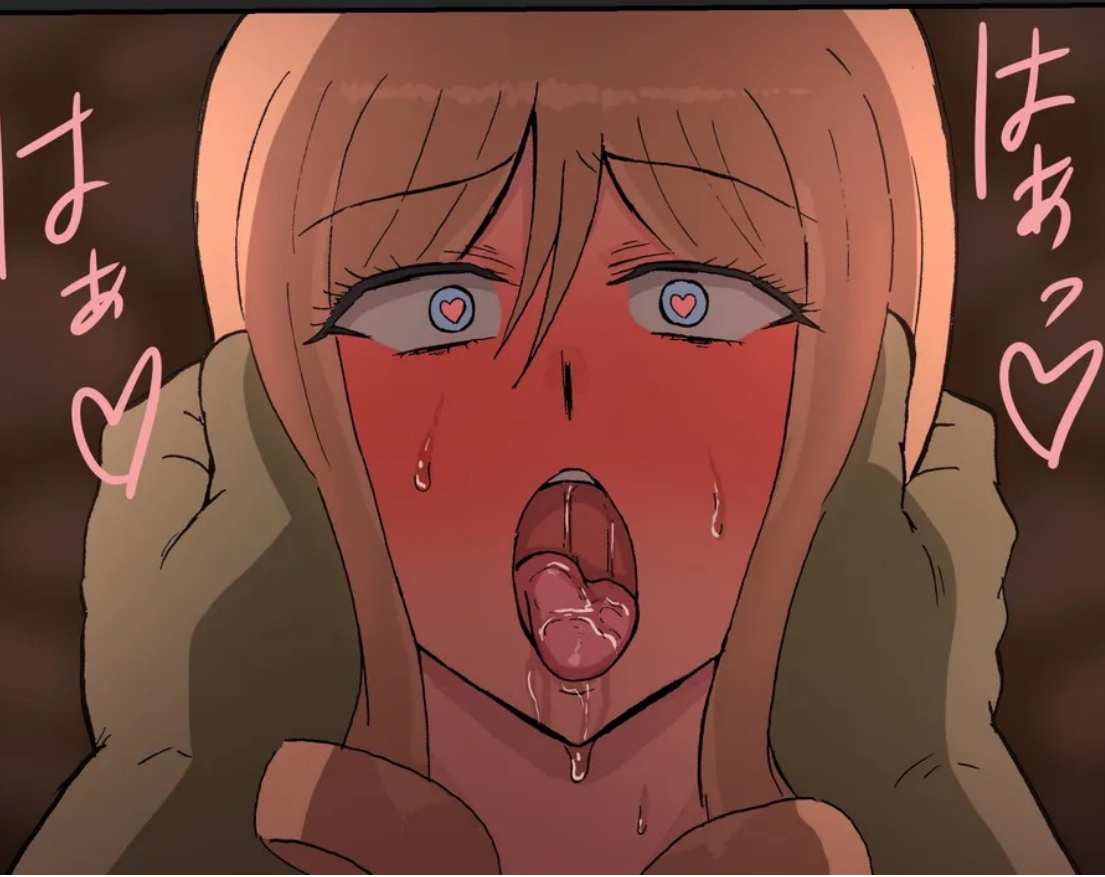
コイツに愛され、求められると
騎士の頃からずっと感じていた空虚な
気持ちや虚しさが消えていく。



そうだ、私。
あの頃よりも...



コイツに愛されて
求められて
コイツのために生きて
ドキドキして



コイツの赤ちゃんを
孕んでる今の私が
好きなんだ...♡

ねえ、わたしね

これからも貴方のおちんちんを
ぐじゅぐじゅのおまんこで
いっぱい包んであげちゃう♡

はあ♡

はあ♡

そしておまんこの中で
せいしどぴゅどぴゅって

タブタブになるまで
受け入れちゃう♡



だから…

はあ♡

きて♡







はぁ♡
はぁ♡

あたためて
満たして
ずっと、
ずっと、
ずっと、
愛して…



もう私…
戻れないの…

こんな幸せ
知ったらもう！

パンツ



お♡
お♡
もう私を
ひとりにしないで…!!

はん♡
はん♡
はん♡
お♡



出すぞ

出っっっ……

はあっ♡

はあっ♡

ハッ

ハッ



赤ちゃんに

注っっ……



ほおおおお

どっぽんぽん♡♡

おろっ♡♡♡

おお♡♡♡

びゅん

びゅん



はぁ♡

はぁ♡

死ぬまでずっと孕ませてやる……!!

ゴッポオッ…♡



お前はオレの雌だ。

おお♡♡

どっぽんぽん♡

ドゥ

クンッ



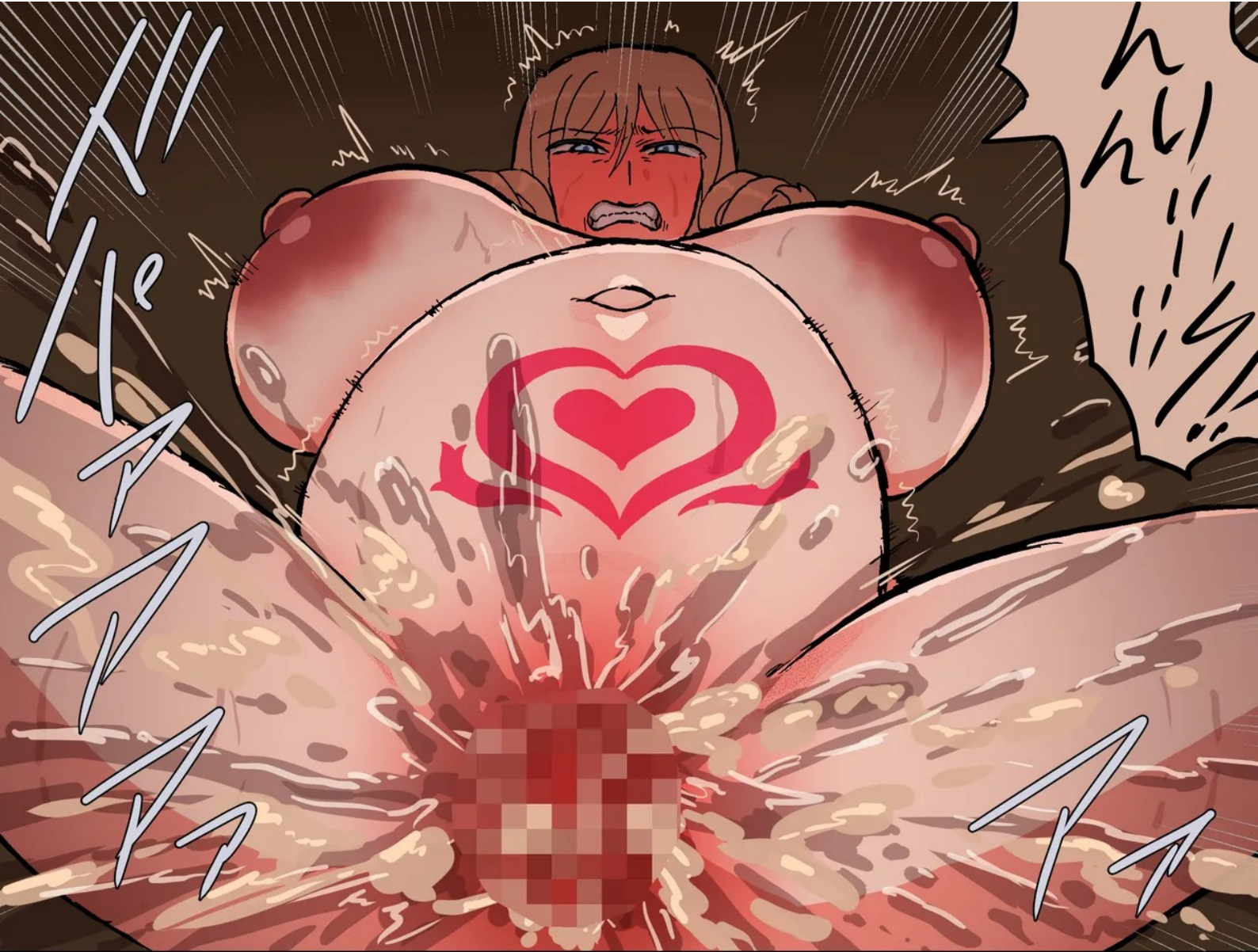
どうやら
来たみたい……!



はぁっ

大丈夫か?

ええ、
ええ



破水...!?!?

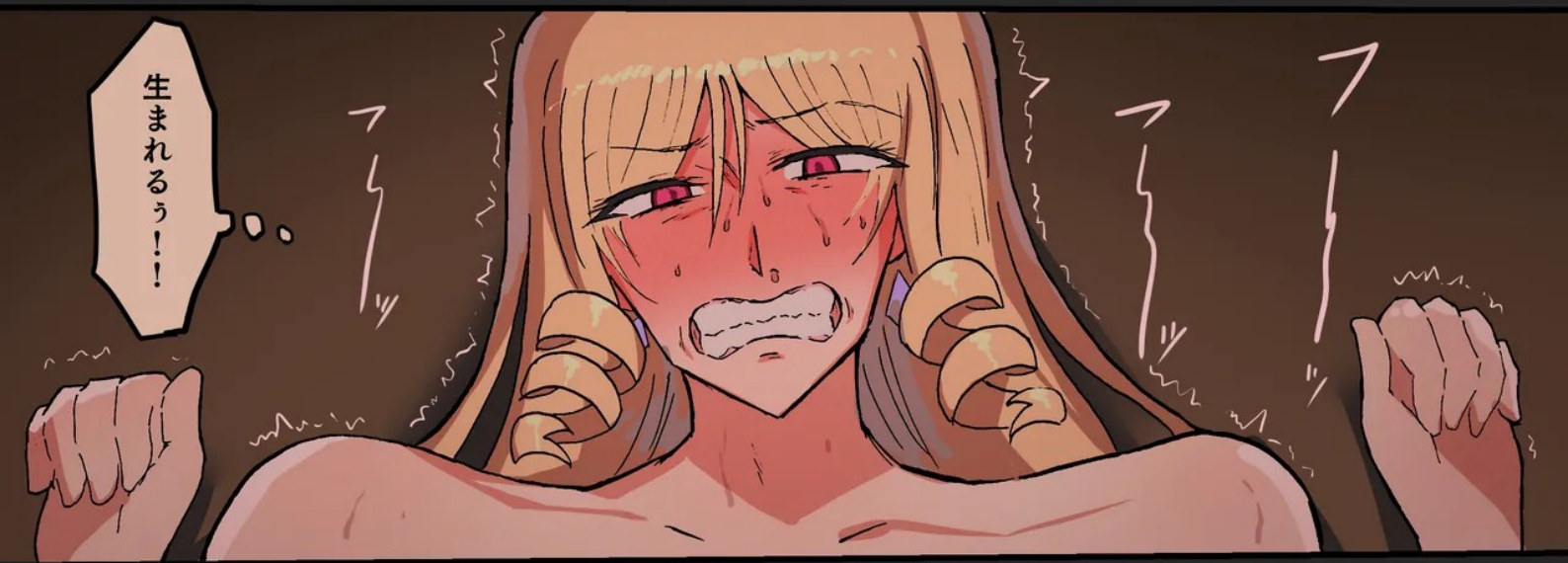


痛みと快楽で
おかしくなる……!?!?

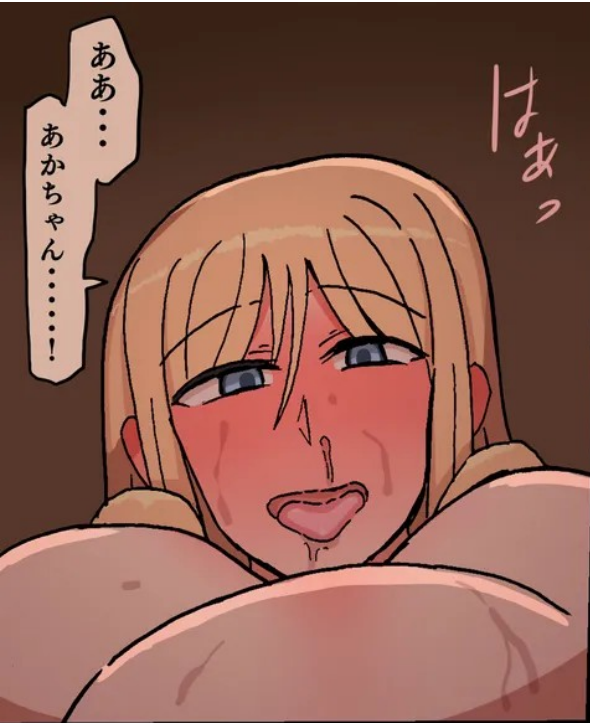
ヒッヒッ♡

グッ
グッ
グッ

アッ
アッ
アッ







ねえ、女騎士だった頃の私。
見ているかしら？

よくやった…！

今の私は幸せよ。

だってもう一人
じゃないのだから…♡

ザッ
ザッ

終わり

オークの花嫁たち

～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～